

【日 時】 令和5年2月7日（火）10時30分～12時30分

【会 場】 さいたま市立七里小学校 南校舎2階 研修室

【委 員】 13名出席 2名欠席

<議 事>

1 開会行事

(1) 校長あいさつ

2 学校運営の進捗状況について①

(1) 健康診断後の受診率について（説明 保健主事）

(2) 学校の様子について（説明 校長）

3 授業参観

- ・子どもたちの表情が明るい印象を受けた。以前は、もっと緊張していたようだった。
- ・スポーツの指導をしていると、運動していてもマスクを外すことに抵抗のある子が多い。息が上がっているのにマスクをしたままという子がいる。
- ・早い時期からマスクを外して運動することに慣れていれば抵抗は少ない。実際に指導する時には外させているが、抵抗はないようだ。
- ・ずっとマスクをしているので、している時と外した時の顔の印象にギャップがあることから外したくないという子が多くなっているのではないかと。

4 学校運営の進捗状況について②

(1) 生活のきまりについて（説明 生徒指導主任）

- ・黄色の帽子を被らず手に持って登下校している女子がいるがよいのか。
→被るように指導しているので、声をかけていきたい。
- ・最低限のきまりは大切である。社会にはきまりがある。きまりを守ることは社会人への第一歩である。また、そのきまりは子どもたちにとって絶対に必要なものなのか、子どもたちと話し合うことも必要。

(2) 生徒指導上の取組について（いじめ対策委員会）（説明 生徒指導主任）

- ・昔よりいじめに対する取組がよくなっていると感じる。先生方はしっかりと取り組んでくれていると感じる。
- ・人が複数集まれば、何かしら起きる。いじめの未然防止には、いじめがなくなるとどんなよいことがあるのかを伝えていくことが大切だと考える。七里公民館は文部科学省表彰を受けた。職員がみな人格者でよいメンバーだからだと思っている。みんなとうまくやり、いじめがなくなると、どんなよいことがあるのか、ということ伝えていきたい。

- ・心と生活のアンケートで要面談となった児童と面談をした後、保護者へ連絡することはとてもよいことだ。保護者も気を付けて我が子を見ていくと思う。

(3) さいたま市学習状況調査について (説明 教頭)

(生活習慣等に関する調査について)

- ・(あいさつに関する質問項目に関わって) 登校指導をしているとき、目を見て「おはようございます」と言える子が驚くほど増えている。

(学力に関する調査について)

- ・(主語を答える問題に関わって) 家で親子の会話を見ていると、子どもが母親に「お母さんの話は主語がないよ」と言っていることがある。主語と述語の関係を意識し、しっかり押さえさせることは大切である。主語がないと何を話しているか聞いている方はわからない。
- ・主語と述語について、子どもと話しているときに、わざと「誰が？」と主語を尋ねるようにしている。

→1回取り組んだだけで身につくものではない。繰り返し取り組ませ、定着を目指している。確実に押さえさせたい内容について、各教科部会で教科ごとの学習プリントを作り、子どもたちに取り組ませている。今後も継続して取り組ませていくとともに、プリントの内容は見直し・改善を図っていく。昨日の校内研修の中でも主述の関係の話から、母語である日本語特有の性質があり、それを大切にしていきたいという話を職員にした。日本語の仕組みを理解し、創造的に使える子どもを育てていきたいと考えている。そこで、来年度は「書くこと」に焦点を当てて校内研修に取り組んでいく予定である。

5 学校評価について

(1) 学校アンケートについて

- ・設問8「学校は、子どものなやみやいじめなどのトラブル等について、適切に対応している。」に否定的な回答をしている子が思いの外多くいると感じた。先ほどの「生徒指導上の取組について」で説明のあった「設問3」に該当したり、さいたま市学習状況調査の「学校に行くのは楽しいですか」で否定的な回答をしたりする高学年の子が一定数いることが気になる。5年生くらいになると多感な時期を迎えると思う。ターゲットを高学年に絞るなどして、対策を考えてほしい。
- ・設問2「学校は、朝運動や授業、学校行事(運動会、持久走記録会)等を通して、健康で運動が大好きな子を育てている。」で教職員と子どもの意識のギャップが大きい。運動が得意な子と苦手だったり嫌いだったりする子で運動への意識に差があることがこのギャップにつながっているのではないかと。運動の楽しさを味わわせてあげたい。そうすれば、運動が好きになっていくのではないだろうか。

→登校後に校庭で遊んでいる子どもは少ない。休み時間にも校庭で遊ばない子どもが一定数いる。子どもと一緒に遊んでいる担任もいて、外遊びをすすめてはいるのだが、外遊びの定着しない子もいる。会議等でなかなか時間が取れないのだが、本当は放課後に校庭に遊びに来た子どもと担任と一緒に遊べる時間があるとよいと思っている。放課後の時間の使い

方は考えていく必要がある。

- ・私は運動が苦手だった。中学校でクラブ活動を始めて体力がついてきた。運動が苦手な子もいるが、体を動かす経験をすることで、少しずつできるようになっていく。一緒に体を動かして、運動の楽しさを味わわせてあげたい。
- ・保護者アンケートで自由記述欄にいただいたご意見については、学校で検討し、対応している。必要に応じて個別にご連絡差し上げているところである。児童アンケートでの自由記述については、担任が対応し、その後の報告を管理職が受けている。

(2) 自己評価システムシートについて

(1 : 学力に関する項目について)

- ・本人が楽しいと思ってやる気になれば、学習には取り組む。やる気にさせることが一番ではないか。
- ・私が子どもの頃、毎日、宿題をやって提出すると先生によいところをほめてもらった。そうしたことから自分は何が得意かということがわかるようになってきた。子どもたちが自分のよさに気付けるようにしていくことが大切なのではないか。

※2以降については、別途文書でご意見をいただくこととなった。

6 令和5年度学校経営方針について

- ・目指す教師像について、校長自らが明るい雰囲気である。そうしたことは職員に波及するのでよりよいことである。
- ・あいさつの徹底について、「あいさつは、まず家庭から」のロゴを七里小の文書のいろいろなところで見ると、保護者もよく目にする事になり、意識が高まる。ぜひ継続してほしい。

※令和5年度学校経営方針について、出席者全員の仮承認を受けた。

7 諸連絡

(1) 学校運営協議会委員アンケート調査について

8 閉会